

〈令和2年度〉ミライカナエル活動サポート事業 ステップアップ支援コース

団体名	ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト
事業名	ホームスクーリングタウン事業
補助金額	500,000円
事業の目的	
私達はホームスクーリングという学び方が広く認知され、様々な理由から学校で学ぶ選択ができなくても受け入れてくれる社会を目指して、ネットや地域の色々なところを自由に使って学べる環境を整えています。そして社会全体を学びの場として活用し自らの状況に合わせた必要な学びを選択できる「ホームスクーリングタウン」環境をつくり、社会のなかで、子供達が興味のある事を学び、活躍する未来を描いています。	
事業の内容と成果・効果	
＜当事者の問題解決に向けた活動＞ - 不登校当事者親子に向けたイベントである、朝カフェ（8回）、ご近所探検プログラム（3回）、その他のワークショップ（3回）を、リアルとオンラインを合わせ14回開催しました。 - 参加者131名。親同士のコミュニティであるLINEグループは、当初70名から現在は83名に増加。 - 朝カフェ、ご近所探検チラシ4000部作成。社会福祉協議会や市内店舗、放課後児童クラブへ配布。 - 母親だけでなく子供も一緒に参加できる企画に挑戦し、親や地域の方が互いに子供に関わりあいながら活動するシェアシステムの小さな形ができました。 - 朝カフェでは地域の方を講師とする新たな企画をスタートさせ、親同士だけでなく地域の方や学生ボランティアさんとの繋がりを作ることができました。 - 新たな継続的プログラムとして『ご近所探検プログラム』を探究学習の専門家とともに行いました。当事者以外の目線を取り入れて実施したことで、当事者同士だけで活動する「閉じたコミュニティ」から、開いた存在へと変化する大きな一歩となりました。	
	
（写真上）市内各所でチラシを配布	
＜地域社会の仕組みづくりに向けた活動＞ - 他団体への視察4回、協力者訪問7回実施。 - 地域社会と関わりながら活動している団体を視察し、親子参加型企画や地域の方と交流する企画を実行。 - 地域の方々がプロジェクトに参加しやすく、且つ、協力者が見える化するためHPを改善し、地域協力者に向けた優待サイトを新たに構築しました。また、プロジェクト案内チラシも作成。 - 地域の方や商店会、自治会が、子供活動における活動場所探しに協力してくださいました。 - 補助期間中のホームページ更新48回、16,202回の閲覧あり。	
＜組織体制構築に向けた活動＞ メンバー間のミーティングを40回実施し、団体の活動方針を共有。特に、団体に、当事者親向けと地域協力者向けの2つの機能が必要になってきたことがクリアになったのは大きな成果でした。	
事業を実施しての課題	
当事者親を中心にシステム構築を始める計画でしたが、親同士だけで活動を広げていくことに限界が見え、活動方針を見直す機会を作れました。今後は当事者の問題解決に向けた事業と社会の仕組み作りに向けた事業を分けて位置づけ、2つの機能を明確にして進めていきたいです。	